

< 投稿原稿のテーマ >

応募要領1の(1)は「子どもと環境に関するテーマを扱う」としています。この趣旨に沿うものであれば、子どもと環境との関わりを直接的に論じるもの、環境との関わりにおいて、しかし、主に子どもに関して論じるもの、子どもとの関わりにおいて、しかし主に環境に関して論じるものなど、自由にご提案いただけます。

テーマを扱う関心、方法についても、「発表部門表」(応募要領 補2)にありますように多様なご提案をいただけます。

なお、テーマとともに、投稿原稿の要件は重要であり、同じく応募要領1の(1)記載の事項、すなわち、投稿原稿全般においては独立性・完結性、研究論文においては目的、方法、結論等の明記などについてもご確認ください。

< 投稿原稿審査の基準 >

応募要領4の(1)は、原稿の採否は、理事会が定める「査読要領」の手続および判定基準にもとづいて学会誌編集委員会が決定し、著者に通知するとしています。査読要領は、現在準備中ですが、これは、主に、査読は学会誌編集委員会査読部会の指名する2名の査読委員によるなどの手続きを規定し、判定基準は基本的には応募要領1の(1)~(5)にある事項とお考えください。

原稿審査の基準は、たとえば、報告論説類では信頼性ないし論理性が確認できること、研究論文では独創性、発展性、有用性、信頼性等が評価できることとするなど、ある程度、原稿種別によることとなります〔応募要領4の(1)〕。したがって、原稿は、最もふさわしいと考えられる原稿種別としてご投稿ください。ただし、査読段階で、学会誌編集委員会より、学会誌投稿原稿としての原稿種別の変更を提案する場合〔応募要領4の(4)〕、あるいは、学会広報(「ニュースレター」)掲載原稿への移行を提案する場合〔応募要領4の(5)〕があります。これは、できるだけ多くの学会員の原稿が、それにふさわしい形で発表できるようにとの配慮によるものです。

< カラーページ登載料 >

投稿料・掲載料は、子ども環境学会および学会誌を認知していただけるまでの当分の間の措置として、その実質的経費に関わらず無料としています。しかし、カラー頁の印刷にはかなりの費用がかかるため、他学会の事例なども参考にしながら、投稿者に費用負担を求めることとしました。したがって、カラー頁を、費用負担をしてカラー頁のまま印刷するか、費用負担のないモノクロ頁に変更するかは、投稿者においてご判断いただけます。

< 著者が非常に多数の場合、グループが応募する場合など >

著者は表題に続く氏名欄に記載します(執筆要領4)。人数が多い場合も、当該投稿原稿の著者であれば、この欄に記載するのが適切です。ただし、他学会では著者3名までなど人数に制限を設けているものもあり、直接執筆に関わった者に限るなど、著者の枠は過度に広げられないのがよいと考えられます。また、以下に示す、グループ(委員会など)を著者として扱う方法も可能です。

報告論説類において、原稿に関連したオリジナルな報告書等がある場合には、これを本文の序論(およびこれと参照関係にある参考文献や注)に明記する、あるいは、応募要領2では本文に一括していますが、本文に続く謝辞(およびこれと参照関係にある参考文献や注)に明記することが考えられます。この場合、報告書等の著者は、参考文献の情報とあるいはこれに準じた本文として記載されることとなります。グループ(委員会など)が著者である報告書などにおいて、参考文献の情報には含まれない構成員の氏名を明記する場合には、序論ないし謝辞と参照関係にある注に記載すれば、本文より小さい文字〔8ポイント(12級)〕とすることができます。たとえば

注1) 参考文献1)は下記メンバーで構成される 委員会(年 月~ 年 月)の成果をとりまとめたものである。

委員長: (研究所) 幹事: (研究所) 委員: ……

応募要領2は、技術報告、調査報告、実践報告においては、当該報告の研究に関わったグループ(委員会など)が応募することも可能であるとしています。この場合には、いくつかの場合が考えられます。

1) 著者欄にグループ名を記載する。この場合、応募要領では構成員氏名を本文中に記載するとありますが、以下のようにするのがよいと考えられます:

a) グループ名には著者名に対応する肩つき記号〔執筆要領7の(3)〕をつける。

b) 所属機関・職位・学位記入欄〔同7の(2)〕には、構成員氏名を、学会大会学術講演会、一般に公表されていない報告書などにおいて発表したものについてその発表場所・時期を示す脚注〔執筆要領4の(2)〕に準じ、本文より小さい文字〔8ポイント(12級)〕で記す。たとえば

委員会の構成は下記のとおりである。

委員長: (研究所) 幹事: (研究所) 委員: ……

この方法では、所属機関とともに、職位、学位までの書き込みが可能ですが、構成員に

についての英文表記は省略されます。グループ名の英文表記は、上記脚注に続く所属機関・職位・学位欄に記載されます。

- 2) 構成員人数が少数であれば著者欄への記載が可能と考えられます。この場合、グループ名は、学会大会学術講演会、一般に公表されていない報告書などにおいて発表したものについてその発表場所・時期を示す脚注〔執筆要領4の(2)〕に準じ、注記することができます。
- 3) その他 具体的原稿案につきお問い合わせください。